

別添資料19「2006年度学生募集要項抜粋」

3 選考方法・選考内容

以下の内容を総合的に勘案し、本大学院で学修する方としてふさわしいか否かを審査します。

【一般入試】

- 1、書類審査
- 2、筆記試験

短答式試験と論述式試験を課します。

	内容	試験時間
短答式試験	適性試験、会計に関する知識を問う試験	60分
論述式試験	社会科学に関する論述試験	60分

3、面接

入学志願者の、本大学院で学ぶ意欲を確認します。
面接の日時は、本大学院より個別に指定します。

【AO入試】

- 1、書類審査
- 2、面接（同上）

【企業推薦入試】

- 1、書類審査
- 2、面接（同上）

6 出願資格

【一般入試・AO入試・企業推薦入試共通】

以下項目のいずれかに該当する方もしくは2006年3月までに該当する見込みの方とします。

学校教育法第52条に定める大学を卒業した方

学校教育法第68条の2第3項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方

外国において学校教育における16年の課程を修了した方

学校教育法施行規則第70条第1項の規定に基づき文部科学大臣が指定した方

本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方で、22歳に達した方

については審査に時間を要しますのでお早めにご相談ください。

【AO入試】

以下項目のいずれかに該当する方とします。

社会人

出願する時点で一般企業もしくは公務員として1年以上勤務している方、もしくは勤務経験のある方で、会計専門職業人としてのスキルの修得を目指す方

有資格者

会計系（公認会計士短答式試験合格者・税理士試験簿記論もしくは財務諸表論科目合格者・日商簿記2級合格以上・全経1級合格以上・米国公認会計士合格

者)

コンサルタント系(中小企業診断士・社会保険労務士・AFP合格者)

法律系(司法試験・司法書士・弁理士・行政書士合格者)

上記資格以外の有資格者(個別に審査を行います。)

成績優秀者

大学に3年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本大学院において認められた者

【企業推薦入試】

志願者の所属する企業から所定の企業推薦書を出願書類と同時に提出した方で、所属の企業において会計専門職業人としてのスキルを必要としている方、または将来必要となる方

企業推薦書は人事担当責任者もしくは所属部署責任者に記入して頂きます。

書類審査を行い、場合によってはAO入試もしくは一般入試に変更させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。